

## 事業所名 グループホーム悠遊荘

## 運営推進会議開催報告書

開催日時 平成 30 年 8 月 21 日 (火) 2 時 00 分～3 時 00 分	
参加者	議 題
利用者 3 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>活動報告</u></li> <li>• <u>外部評価目的経過報告</u></li> <li>• <u>質疑応答</u></li> </ul>
利用者家族 0 名	
地域住民の代表者 1 名	
市職員 1 名	
民生委員 1 名	
地域包括支援センター職員 1 名	
事業所 2 名	
会 議 録	
7 月、8 月の活動報告	
7 月	
2 日 (月)	往診
5 日 (木)	健康診断 (しなのクリニック、Y 様、M 様)
6 日 (金)	健康診断 (しなのクリニック K 様、M 様)
7 日 (土)	七夕会食会 (悠遊荘にてうなぎ弁当)
10 日 (火)	健康診断 しなのクリニック、K 様、A 様
23 日 (月)	T 様定期眼科受診 (わたらい眼科)
26 日 (木)	図書館 M 様と一緒に紙芝居と本を借りに行きました。 ギター神野様来荘 (プレ夏まつり)
8 月	
6 日 (月)	往診
7 日 (土)	理容
19 日 (日)	第 10 回悠遊荘夏祭り (ギター神野様演奏カラオケ、日本舞踊、盆踊り 3 回目の手作り弁当を食べて頂き楽しく行いました。 11 時半から 14 時まで (家族の方 7 名 4 家族、ボランティアを兼ねた地域の方 17 名、) 民生委員の O 様、老人会長 M 様も参加、お手伝いボランティア 2 名 (家族会) も兼ねて行いました
その他利用者の方と買い物、瀬戸市内のドライブは不定期に出かけております。	

### 3、事故報告

w 様 7月4日 18時30分 (徘徊)

遅番、夜勤者が2人勤務時。廊下を歩いていたが、目を離した時、玄関に行き自ら戸を開け外に出してしまった。

A 様 7月15日 10時30分 (ケガ)

入浴後、身体を拭いている時、急に身体を傾け手すりの角に左額をぶつける

S 様 様 7月24日 15時30分 (ケガ)

ホールテーブルで爪切りをしていた時右手薬指 にケガをする。

### 4、身体拘束に関して

Aさまの家族の同意書をいただいています。

歩行されていた頃、身体が左に傾きふらつきがみられ、転倒の危険も多く車いすで対応していましたが、身体を前かがみにして車いすから転落しそうになることがあったため、夜勤帯で勤務者が1名の時に限定し、ベルト使用がありました。拘束を実施した時の記録は残しています。

現在は痔疾患のため、長時間の座位が苦痛で、自室で休むことも多くなり、座位時間が減少、また休むことで体力が回復するのか椅子に座っても前かがみになることは少なくなりベルト使用の実施はありません。

### 5、外部評価目的達成経過報告

A 下肢筋力の低下が顕著のため、歩行が困難になり外出の機会が減ってきているが、地域ボランティアを招くことで気分転換を図っている。

B 認知症状やADLなど一人ひとりが違っているため、同じレクや運動を一緒に提供するのが難しい。個別ケアとしてマンツーマンでその方に応じたサービスを一日の中の空いた時間で提供している。

### 6、 質疑応答、意見交換

Q：(包括 様) 下肢筋力の低下に関して行っている事は？

A： おやつ前の時間には全員で体操する時間は設けているが、一人ひとりのADLの差が大きく介助がないとできない。一日の中での空いた時間に個別的に行うことも多い。

Q：(民生委員 様) 今年の夏は暑かったが熱中症など体調不良の方はいたか？

A： ベース疾患の悪化などでの体調不良はあったが、熱中症にかかった方はいなかった。エアコンが嫌いで冷房を拒否される方もいて対応に苦慮した。

(市役所)

身体拘束の三原則を常々職員で話し合っ事故防止に努めて欲しい。夏まつりは盛況で何よりでした。

